



地域との医療連携

～地域医療相談室をご活用ください～

■地域医療連携とは

地域にある医療機関や施設がそれぞれの機能を活かし患者さまが必要とする治療やリハビリ、療養、介護を受けられるよう連携する医療体制のことをいいます。連携の種類には、かかりつけ医と病院との連携（病診連携）、急性期病院とリハビリ病院・療養型病院との連携（病病連携）、病院と介護施設等との連携等があります。

近年、医療技術の進歩による医療機関の機能分化や生活習慣病の増加などによる疾病構造の変化など医療をとりまく環境は大きく変化しています。こうした背景から国は、かつての病院完結型の医療体制ではなく、地域全体で医療の質の向上と効率化を図り、地域の医療資源（介護等含む）を有効活用するよう方針を出しています。その方針を推進するために必要とされるのが「地域医療連携」です。

地域医療連携を行うことにより患者さまが住み慣れた地域の中で、傷病の状態に応じた適切な医療や介護が切れ目なく受けられるような体制（いわゆる『地域完結型医療体制』）の構築を目指しています。

■前方連携と後方連携

地域医療連携には、前方連携と後方連携があります。前方連携とは、患者さまが医療機関に受診や入院する際に行う連携（紹介）をいいます。反対に、後方連携とは患者さまが医療機関から受診先を変える場合や退院の際に行う連携（逆紹介）をいいます。

＝前方連携業務＝

- 初めて受診される方へのご案内（新患受診受付）
- 医療機関からの診察・検査（CT等）の予約受付
- 紹介元への検査結果及び診療状況のご報告
- 患者さまに関する情報提供依頼への対応
- 紹介・逆紹介など地域医療連携に関するデータ管理
- 連携医療機関の登録に関する業務
- 療養型病棟への入院に関するご相談
- その他（心電図 FAX 診断システム、セカンド・オピニオン外来受付など）



＝後方連携業務＝

- 転院に関するご相談、連絡調整
- 退院後の在宅医療・介護に関するご相談
- 退院後の施設入所に関するご相談

＝医療福祉相談業務＝

- 患者さまの状況に応じた制度（健康保険制度、各種医療費助成・公費負担制度、介護保険制度、身体障害者制度、生活保護制度、年金制度、成年後見制度等）の利用に関するご相談
- その他 患者さま・ご家族さまが抱える社会的・心理的・経済的な問題に対するご相談

■当院における地域医療連携 —地域医療連携室から地域医療相談室へ—

当院では、平成18年から地域医療連携室を開設し事務員2名（専従1名 兼務1名）を配置し本格的に地域医療連携業務を開始いたしました。地域医療連携室では主に前方連携業務を担い地域の医療機関等からの紹介患者さまをスムーズにお受け入れるための取り組みや、広報活動を行ってきました。

一方で、医療相談室：医療ソーシャルワーカー（以下MSW）が後方連携業務と療養型病棟への入院に関する業務を別々に行っていました。

近年の厳しい医療・保健・福祉情勢により、いっそう円滑な地域医療連携が求められるようになったことから平成26年1月に地域医療連携室と医療相談室を統合し新たに『地域医療相談室』として専従事務員1名とMSW2名で業務を行うことになりました。

『地域医療相談室』では、連携・相談業務を一元的に行うことにより、地域の医療機関や福祉関係機関等と当院をつなぐ窓口となり、患者さまが受診・入院から退院後の生活まで継続性のある質の高い医療・福祉サービスを受けていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。

患者さまのご紹介については『地域医療相談室』へお問い合わせください

TEL：076-253-2220（直通）

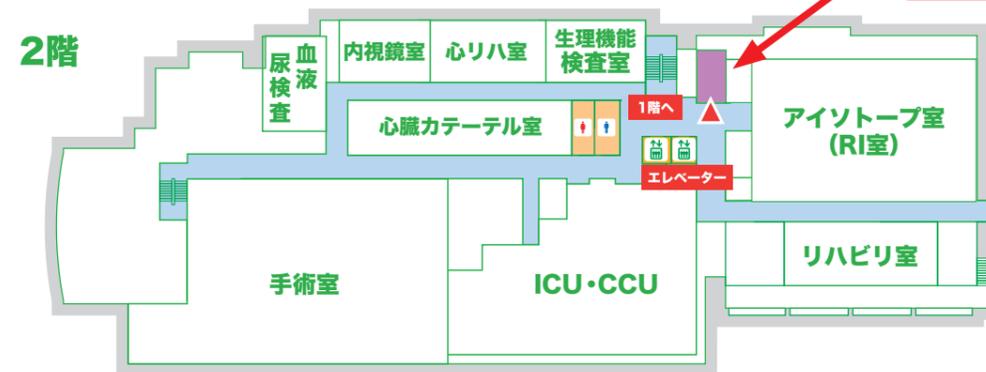
076-253-8000（代表）

FAX：076-253-0521（直通）

担当者：南（事務員）、島野・今井（MSW）

受付時間：（平日）8：30～17：00/（土曜※第2土曜を除く）8：30～12：30

地域医療相談室へは、階段かエレベーターで2階へお越し下さい。



※『登録連携医療機関』を募集しています。

当院では、地域の医療機関や施設等とより円滑な医療連携を図ることを目的に、連携登録医制度を実施しています。

登録いただいた場合には、逆紹介の推進、登録医療機関情報への掲載・周知などの取り組みを行い、連携推進に努めていきます。ご登録いただける場合は、地域医療相談室までお問い合わせください。

心臓血管外科より

2014年4月より新たに常勤外科医スタッフが1名増えました。

世間一般では心臓外科医の減少、若い医師の外科離れが進んでおり、外科医不足に悩んでいる病院も多い中、当院では顧問を含め常勤外科医5人体制となりました。また、外科医の平均年齢もグッと下がっています。

常勤5人体制となったことにより、今まで外科医の出張等でどうしても緊急対応できなかった事態もありま

したが、今後は24時間365日緊急対応可能な体制を確保することができました。また、24時間緊急手術可能となるよう常時手術室も待機しています。

緊急で外科対応が必要となった際には、すぐ当科にご一報頂ければ迅速に対応させていただきます。

これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

心臓血管外科 上山克史

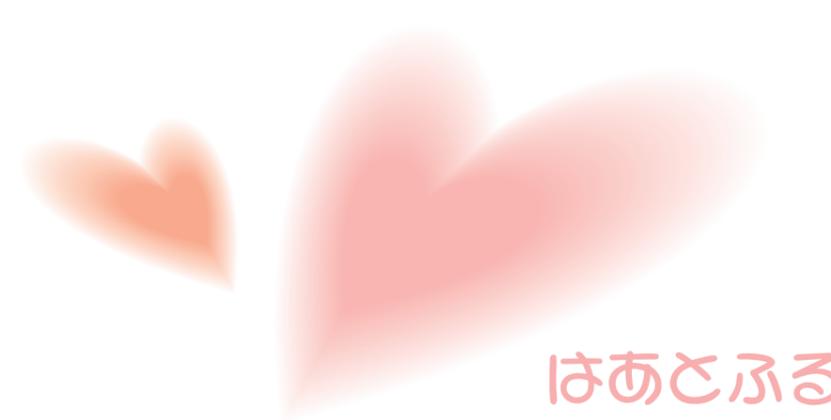


■ 地域との医療連携～地域医療相談室をご活用ください～

■ 心臓血管外科より

■ Slender Club Japan Workshop が行われました

■ 地域医療連携室 ☎076-253-2220 (直通)



Slender Club Japan Workshop が行われました

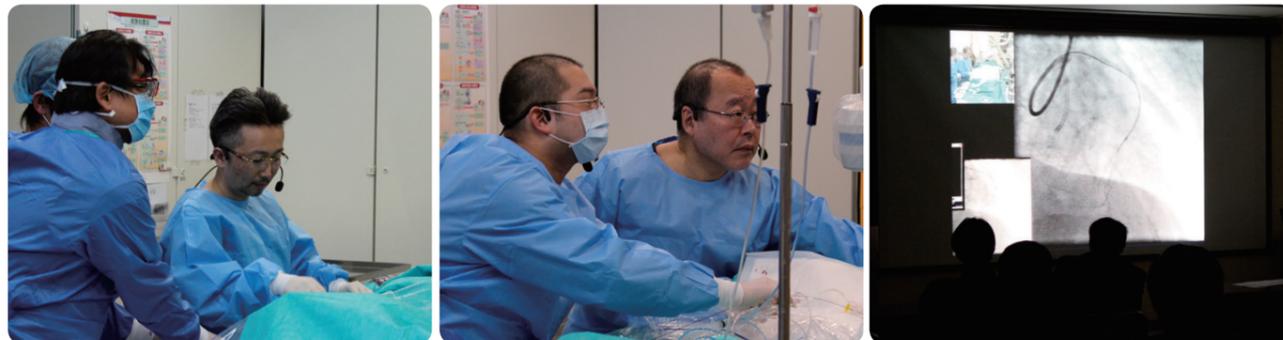
2月1日に世界的にも有名な先生方を当院にお招きし、最新のカテーテル治療をカテーテル室と講義室をライブ映像で繋ぎ、治療手技をカテーテル室の術者と来院された参加者として議論をしながら活発な意見交換が行われました。ライブの合間には教育セミナーも行われ参加者からは非常に有意義な時間を過ごせたとの評価も頂きました。

Slender Club Japan とは、より細いカテーテルを使い患者さんに低侵襲で治療を行い、少しでも患者さんの負担を減らそうという目的を持ってカテーテル治療に従

事している医師、コメディカルスタッフの集まりです。

カテーテル治療を受ける患者さまにはいろんな形でいろんなスタッフが関わります。患者さまを想う気持ちは皆同じで、少しでも患者さんのために負担や不安を軽減させたいとの精神は病院に務める人間なら誰でも持っているものですし、Slender Club Japan の基本精神は我々医療従事者の基本的な考えと相通じるものがあります。

心臓血管センター金沢循環器病院は丸となって、これからも患者さまにより良い医療を提供すべく仕事に従事していきます。



浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院

www.kanazawa-heart.or.jp

Early summer 2014



■ 病院理念 ■

循環器専門病院として、高度先進医療から老人医療にいたるまで「患者さま第一」のきめ細かい医療をおこないます。

■ 基本方針 ■

1. 優れたスタッフを充実させ24時間フル体制で先進医療を提供します。
2. 患者さまが安心と満足の得られる十分な説明と同意に基づいた治療をおこないます。
3. 病診連携を密にして地域のみなさまの健康と幸せな暮らしを守る病院を目指します。



浅ノ川病院グループ 金沢循環器病院
心臓血管センター
〒920-0007 石川県金沢市田中町は16
TEL076-253-8000 FAX076-253-0008
<http://www.kanazawa-heart.or.jp>
info@kanazawa-heart.or.jp

編集 / 地域医療連携室 (M) TEL076-253-2220
はあとふる Vol.39 発行日 2014年6月10日